



学校だより



NO. 9
東京女学館小学校
令和6年12月2日

子どもの感性ってすごい

小学校長 盛永 裕一

私が本校に着任したばかりの二年前の入学式、四月にしては大変暑い日でした。新しく袖を通した制服も、少し汗ばむ気温でした。校庭での記念撮影の時、入学生たちは「暑い、暑い」と言っているほどでした。そんな中、ある子がボツリと言いました。「電子レンジの中にいるみたい。」子どもの感性はすごいものです。初めて出会った子どもたちですが、私の中の緊張感が一気に溶けていったのを覚えています。

何年か前に「ことばのしっぽ」という本に出会いました。読売新聞家庭面の「ことばの詩」コーナーが五十周年を迎え、子どもたちから寄せられた詩を集めた本です。

あめ
あめ ちようだい
いっただけでいいです
あかと みどり

三歳の女の子の作品です。思わず微笑んでしまい、「それは二こだよ」と話しかけたくありません。私の孫の顔が浮かびました。覚えてたの日本語を駆使して、思ったことを素直に伝えてきます。正しくなくとも、その健気な姿が愛おしいのです。

てすと
わたしは てすとで
60てんを
とったことがあります
おとうさんにみせたら
おこりました
100てんを みせたら
こんどは
おにいちゃんを
おこりました

この本には、一つ一つの作品に専門家の短評が添えられています。一年生のこの作品には「おとうさん、この詩のつたこと、おにいちゃんをおこらないでください。おねがいします。」と記されていました。子どもは、親の姿をよく見ているのです。それはおとなになってからも、意外と覚えているのです。孫に甘い私は、「俺にもそうしてほしかったな」と息子に時々言われます。

プリン

母は弟が生まれないときから3こ入りのものを二つ買って来た妹と私でけんかにならないようにでも3人姉弟になつてから3こ入りのものは一つしか買ってこなくなつた母の知恵おそるべし



五年生の作品です。子どもの発達段階による成長を感じます。このような作品に接するたびに、子どもの感性ってすごいと思うのです。と同時に、おとなもがんばらなくては…と自分を奮い立たせています。

参照 「ことばのしっぽ」読売新聞生活部監修 中央公論新社

3年生 広尾商店街店員体験 A組:11月7日(木)・B組:14日(木)

社会科担当 教諭

広尾商店街の振興組合と多くのお店の方々のご厚意により、今年度も店員体験学習を行うことができました。事前の学習で、スーパーマーケットやコンビニエンスストアと比べ、似ている点や違う点を考えたり、店頭に掲げていたポスターを描いたりしました。当日は、両クラスともお天気に恵まれて、体験学習日和となりました。児童は、どの店でも明るく元気に活動し、仕事をするを通してお店の方々の願いや工夫を知ることができました。

3A 児童

わたしは、お酒屋さんで店員体験をしました。お酒屋さんでは、商品やレジのきかしの使い方のせつ明をしていただきました。お客様が来た時には本物のレジを使って会計しました。案内してもらった地下室は、ビールなどをしまっておく部屋で、たなが5つくらいありました。たなには動かしやすいようにレールがついていて、おくのたなにあるのが取りやすくなっていました。ねだんのシールをはるきかきを初めて見てびっくりしました。ねだんの数字を合わせて手前のボタンをおしてシュッとすべらせると、シールが商品にはられました。やってみたら楽しかったです。また店員体験に行きたいです。



3B 児童

わたしは、魚りょう理店で店員体験をしました。このお店は、1920年からやっていて、しらす、ひ物、やき魚、おでんも売っています。30年前からは魚定食も始めたそうです。お客様から見て一番前にしかねだんが書いていないので、その商品が売れた後は、次のお客様が分かるようにしました。お食事の所では、お客様を気づかって温かい飲み物と冷たい物のどちらがいいか聞いていました。お客様がいないときには、しらすをふくろにつめてねだんを書きました。お客様がいない時にもいろいろなお仕事をしていました。すごくいい体験になりました。



4年生 社会科見学 11月20日(水)

社会科担当 教諭

「ごみ処理と再利用」の学習のまとめとして中央防波堤埋め立て処分場と夢の島熱帯植物館を見学しました。実際に現地を見て、働く人の話を伺うことで理解を深めたようでした。

埋め立て処分場では、粗大ごみ破碎処理施設など、ふだん見られないところを見学しました。一番心に残ったのは『新海面処分場はあと50年しかもたないかも知れない』ということです。今は昔よりごみ問題はないけれど、だからといってたくさんごみを捨てていいというわけではないと改めて思いました。

4A 児童

心に残ったことは二つあります。一つ目は『サンドイッチ工法』です。ごみを燃やして20分の一になった灰を3メートル分埋めたら、土を50センチメートルかぶせます。これをくり返し積み重ねることで、害虫やにおいを防ぐなど4つのことが解決できます。二つ目は、ごみ収集車が一般道路にもどる前に、タイヤについたよごれをとっていることです。たしかによごれを落とさないで一般道路がよごれてしまうと思いました。

4B 児童



4年生 チェコ大使館訪問 11月13日(水)

私が一番心に残ったことは、一番長い単語が26文字だったということです。ちなみに日本で一番長い単語は、「リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ」という単語で21文字あります。頂いたクッキーは甘いのと、少し辛いのが混ざって、とても美味しかったです。ありがとうございました。4A 児童

私は「シュニッツェルはどんな味がしますか」と質問させていただきました。気になっていたもので、答えていただいたとき、食べてみたくなりました。また、チェコの国旗の色にも意味があるのだとわかりました。いろいろな質問に答えていただき、今まで知らなかったことがわかって勉強になりました。

ありがとう

ございました。

4B 児童



5年生 池袋防災館見学 10月30日(水)

今日は地震、煙、消火器の体験とビデオを見ました。ビデオの東日本大地震の映像で、すごくみんな怖そうでした。どうしようという心配が映像から伝わってきました。普段、私たちはいつ災害が起こるか分からないので、できることはどこに避難するか、防災グッズを備えておくなど前もった行動ができるように心がけたいと思います。私が心に残ったことは煙の体験です。最初私は、煙の怖さを知りませんでした。でもスタッフさんのお話、そして体験で姿勢を低くして口をしっかりとタオルで覆う、こういった当たり前のことが自分の身を守ることに繋がるのだと実感しました。今日体験したことをもしもの時に活かせるようにしたいと思います。5A 児童

私が一番驚いたのは地震シミュレーターです。震度6弱の地震が来た時は、びっくりしました。今は笑っていられても、本当は相当怖い事を実感できました。先生が震度7を経験された時、自分ではないですがテーブルごと動かされている姿を見て、本当にこんな地震が来たら大変な事になると想像できました。次に、煙の中を進んでいく体験です。最初は暗くて進まず、みんな大パニックでした。でも、これが本当だったらと考えると「お・か・し・も」は、相当大切だと思いました。そして、東日本大震災の映像を観て、日本で実際に起こった事だと思ったり鳥肌が立ちました。備えがどれだけ大切か分かりました。5B 児童



感謝の会 11月22日(金)

児童委員会担当 教諭

11月22日(金)にTV朝会で「感謝の会」を行いました。日頃、児童の学校生活を支えてくださっている事務・給食・用務・守衛の方々に、感謝の気持ちを伝える会です。各クラスで工夫し、気持ちを込めた作品を作り、感謝の品と一緒にお届けをしました。また、3つの質問にもお答えいただき、児童委員会でポスターを作成しました。11月27日(水)には6年生の児童委員4名が都営バス渋谷営業所を訪れ、感謝のご挨拶をしました。

6年B組児童委員

感謝の会で、私たちのクラスは都営バスの方々へオリジナルの雑誌を作ることにしました。みんなで記事を書き、個性いっぱい、感謝いっぱいの雑誌が完成した時、達成感がありました。そして、その雑誌を都営バスの方々にお渡ししたら、質問を楽しんだり、メッセージや花束などに喜んでくださったので、自分まで心がほっこりし、とてもうれしくなりました。また、TV朝会で全クラスのカードやカレンダーなど、多種多様で素晴らしい作品を見たり、実際に作ったりして改めて再認識したことは、感謝は本当に大切なことだと思いました。ふだん生活していると当たり前だと思っているはずの感謝をたまに忘れてしまうことがあるので、これからは今まで以上に感謝を忘れず生活したいです。



鑑賞会 11月19日(火)

担当 教諭

「リコーダーと弦楽と読み聞かせのコンサート」～ブリュゲル音楽隊とおでかけしよう～の鑑賞会が講堂で行われました。前半は、Yさんが古代から現代までの笛や様々な国の笛を紹介してくれました。静かなひびきも、講堂の空気を切るような鋭い音も出すことができる石笛(いわぶえ)や、強そうな牛の角でできたつづぶえはとてもやさしい音がしました。小指くらいの小さなリコーダーから大人の背の高さより高い大きなリコーダーが出てきたときは、子どもたちから驚きの声があがりました。イタリアのリコーダーはイタリア語のような音がし、ドイツのリコーダーはドイツ語のような音がすることも興味深かったです。後半は、「ミレドーさんちのこびとたち」の読み聞かせのコンサートです。バイオリン・ヴィオラ・チェロ・リュートが加わり、あっという間に楽しいお話と音楽の世界にひきこまれていきました。最後は、なんと!「あのすずかけの木」を、ブリュゲル音楽隊のみなさんの演奏に合わせて、子どもたちも一緒に歌いました。みんなで息を合わせて、音楽で心がつながった、本当に素晴らしい時間でした。ブリュゲル音楽隊のみなさま、ありがとうございました。



都営バス渋谷営業所での感謝のご挨拶



感謝

すずかけ〜テーブルマナー〜 11月21日(木)

担当 教諭

ホテルオークラにて5年生が和食のテーブルマナーを行ないました。以下、児童の感想をご紹介します。

ホテルに入った時、みんなの緊張感が伝わってきました。席に座るとテーブルマナーが始まり、講師のK先生から、お箸のお話をうかがったとき、すずかけの授業が役立つなど改めて感じました。お料理のふたを開けると、様々な色が目に飛び込んできました。K先生から料理に入れると見栄えが良くなる五色のことを教わりました。母のお弁当も色がきれいです。細かいところにまで気がつかれていることに感謝しました。お料理はみんなが好きな素材がたくさん入っていて、お味もとてもおいしかったです。来年の洋食も楽しみです。 5A 児童



私の心に残ったことは、カレー味のあんです。なぜなら、人参が紅葉形になっていて、お料理を作る方が心をこめて作ってくださったのだなど、とてもうれしい気持ちになったからです。また、和食の「五味」を教えてくださいました。本で学んだことはあったのですが、説明をうかがいながら実際に味わって、より大好きな和食のことが分かり、和食について自分が一歩進んだような気がしてうれしかったです。洋食のテーブルマナーも楽しみです。 5B 児童

防犯訓練 教職員 11月14日(木) 児童 11月27日(水)

担当 教諭

11月14日に行われた教職員の防犯訓練では、新しく購入したケルベロスさすまた(相手の足などを捕捉する)や、ネットランチャーを実際に使ってみて、学校としての防犯力を高める取り組みになりました。まずは児童の安全を確保し、教職員も自分の身の安全を第一に対処することを改めて学びました。

27日に実施された不審者侵入対応訓練では、校庭のすずかけ側の南門よりお巡りさんが不審者役で侵入し、発見した教員が普段から身につけているスクールガードを発砲しました。職員室や中高職員室そして警備員室に連絡がいき、担当者が現場に急行しました。児童は緊急暗号放送で教室に立てこもる訓練をしました。教室のカーテンなどを閉めて窓やドアに鍵をかけ、声を出さずに身をひそめることができました。



12月の生活指導目標 「きまり良い生活をする」

集団生活では、お互いに気持ちよく生活するために、きまりを守ることが大切です。校庭や体育館では、ケガに気をつけてきまりを守って元気に遊ぶように見守っています。楽しく生活する中で、授業と休み時間のけじめをつけるように声をかけています。ご家庭でも、児童手帳で服装や持ち物のきまり、タブレット活用のルール等と一緒にご確認ください。

12月の行事

2日 (月)	中学推薦手続き (12/4まで)	16日 (月)	全校保護者会 (9時40分~11時40分) 及び 夏期英語研修説明会・家庭学習日
3日 (火)	児童朝会・第一回新1年保護者会	17日 (火)	家庭学習日
4日 (水)	面談週間 (~11日(水) (5時間授業、5・6年平常授業))	18日 (水)	3時間授業・軽食・全学交流会 (5・6年希望者)
6日 (金)	体操朝会	19日 (木)	TV朝会 (渋谷警察)・2時間授業・3校時大掃除・軽食 スキー教室児童説明会①
10日 (火)	音楽朝会 2年生道徳「犬とのふれあい」(シモゾノ学園の来校)	20日 (金)	2学期終業式 (講堂)8時20分~8時50分 2校時学級指導
12日 (木)	給食終了・5時間授業・もちつき準備		
13日 (金)	もちつき大会・4時間授業		

